

KURADASHI.jp の会員の皆様へ

フードバンク子ども支援プロジェクト

ご支援のお礼とご報告



特定非営利活動法人フードバンク山梨

この度は、KURADASHI.jp を通じて、当法人の「フードバンク子ども支援プロジェクト」にご協力をいただき、誠にありがとうございました。今回は101,580 円ものご支援を賜り、これまでのご寄付総額は 134,080 円となりました。温かいご支援に心から感謝を申し上げます。

2年目になる「フードバンク子ども支援プロジェクト」は昨年の 1.7 倍となる 222 世帯に、夏休み中 5 回（毎週 1 回）総重量 8 トンにのぼる食料支援を実施することができました。また、学習支援やフードバンクキッチンも新たに実施致しました。

このプロジェクトには、本当に多くの皆様の時間の寄付（ボランティア）延べ 203 人、お金の寄付（延べ 280 件）、食品の寄付 6387.8 kg（約 6 トン）が寄せられました。参加くださった皆様のお一人おひとりのお気持ちが夏休み中、困難な状況におかれていた子どもたちの笑顔につながったことと思います。誠にありがとうございました。



スタートイベントは
食品箱詰発送作業



J1 初！ヴァンフォーレ甲府
との連携でフードドライブ



協賛くださった企業の皆様

今年は新たに中央市と「子どもの貧困対策連携協定」を結び、小中学校 8 校からの申請を受け付け、見えない貧困対策の糸口となりました。私達の支援する子ども達はボロボロの服を着ている訳でもなく、やせ細っているという訳でもありません。米やパン等炭水化物をたくさん摂っているため、太っている子どももいます。日本の子どもの貧困はアフリカ等の海外の貧困とは違い、外見から見てもその困窮度は分かりづらいのです。

そして普通に暮らす子ども達が当たり前に行えることが経済的理由で経験できていないのです。例えば、夏休みの給食がない為に十分な食事が摂れなかったり、学校で使う文房具が買えなかったり、楽しみにしている修学旅行にいけなかったり、夏休みに家族で旅行に行くこともできない子ども達です。



中央市と連携協定締結



フードバンクキッチンで
スイカ割り



学習支援の様子
18名が集まりました

日本における子どもの貧困率 16.3% (6 人に 1 人)、ユニセフがまとめた報告書によると、OECD41 カ国中 34 番目 (下から 8 番目)、母子家庭の貧困率は 54.6% で 2 人に 1 人という世界最悪の状態です。統計で見れば、現在の日本の子どもの貧困格差は先進国の中でも最悪の水準であるのに、見えにくいがゆえに解決への道筋が立てられないのです。フードバンクこども支援プロジェクトでは、行政や学校と連携することでこれまで見えなかった子どものいる困窮世帯を特定し、地域全体で食料支援を通して、迅速に支援することができます。まだまだ、私達の支援を待つ子ども達は多くいます。引き続き皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

フードバンク山梨
理事長 米山けい子